

令和 6 年度

前期日程

## 地理歴史問題

〔注意〕

1. 日本史問題、世界史問題、地理問題の三つの中から一つを選んで解答すること。
2. 問題冊子及び解答用冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
3. 問題冊子は、表紙を除き 1 ページから 16 ページまでである。13 ページ以下は、下書き用紙である。脱落している場合は直ちに申し出ること。
4. 解答用冊子には、解答用紙 8 枚が折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離し、受験番号を、選んだ問題に対応する解答用紙の受験番号欄(1 枚につき 2 か所)に、正確に記入すること。
5. 解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。枠からはみ出してはいけない。
6. 問題冊子の下書き用紙のほか、問題冊子の余白も下書きに使用してよい。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子は持ち帰ること。

問題訂正

・問題冊子

Ⅱ 世界史

2 ページ (I) 問2の問題文 3行目の訂正

(誤)・・・, 東方への移動が容易になったためである。この遊牧国家の名称を答えなさい。

(正)・・・, 東方への移動が容易になったためである。この遊牧国家は6世紀後半に弱体化するが, その後もソグド人の移動は続いた。この遊牧国家の名称を答えなさい。

---

6 ページ (II) 問4の問題文 5行目の訂正

(誤)・・・, 18～19世紀になると,・・・

(正)・・・, 18～19世紀初頭になると,・・・

---

8 ページ (III) 問1の問題文

(誤) 下線部①は, どのような歴史的事実なのか, 条約名と改正内容を答えなさい。

(正) 下線部①で言及された歴史的事実について, 新たな条約名を一つ挙げ, その改正内容を答えなさい。

**I****日本史問題**

- (I) 東大寺の旧境内に現存する正倉院には、天平文化を代表する文物が多数残されており、「正倉院宝物」と呼ばれている。正倉院の宝庫はどのような構造をもつ建物であるのかを簡潔に記した上で、正倉院宝物の中身と特徴を具体的に述べなさい(200字程度)。
- (II) 13世紀後半の2度にわたる蒙古襲来は、鎌倉幕府の軍事・支配体制を大きく変容させることとなった。軍事・支配体制がどのように変わったのかについて、その影響にも触れつつ、具体的に述べなさい(200字程度)。
- (III) 江戸幕府の財政再建のため、田沼意次は様々な経済政策を行った。田沼意次による経済政策について、その効果にも触れつつ、具体的に述べなさい(200字程度)。
- (IV) 1854年にペリーが来航した際、幕府に贈られた蒸気機関車の模型が日本で初めて横浜を走り、明治維新後になると鉄道が次第に陸上輸送の主役となっていく。明治期の日本における鉄道業の展開について、具体的に述べなさい(200字程度)。

## Ⅱ 世界史問題

(I) 次の文章を読み、下の問い(問1～問4)に答えなさい。

2世紀後半から7世紀前半まで、中国では統合と分断が繰り返された。黄巾の乱で後漢が弱体化すると、各地に豪族・武装勢力が乱立した。この分裂は、後漢の滅亡、魏・呉・蜀の対立を経て、晋(西晋)によって統合された。しかし八王の乱・永嘉の乱を契機に、晋は北中国の支配を失い、北中国では、五胡と総称される遊牧民たちを為政者とする諸国が割拠するようになった。<sup>①</sup>一方の南中国では、317年に晋の皇族が即位して王朝(東晋)を再建した。420年に晋は滅び宋が建国された。やや遅れて439年には、北魏が北中国を統一した。南北で王朝が対立したこの時代は、<sup>②</sup>589年に隋が南朝最後の王朝を滅ぼしたことで終わる。しかし隋の統一も長くは続かなかった。隋は、土木工事と高句麗遠征<sup>③</sup>で人心を失い、全土で反乱が起こる。再び訪れた分断の時代を終わらせたのが、唐である。唐は第二代皇帝である太宗の時に中国を統一し、ようやく安定した統合の時代を迎えた。<sup>④</sup>

問1 下線部①が北中国に居住するにいたった歴史的背景について説明しなさい(150字程度)。

問2 下線部②の時代には、中国へ移住するソグド人が増加した。これはバクトリアを中心に、中央アジアに勢力を拡大した遊牧国家が成立したことで、東方への移動が容易になったためである。この遊牧国家の名称を答えなさい。

問3 下線部③は唐代にも実施された。唐の第三代皇帝である高宗の時代には、朝鮮半島諸国間の戦争に介入する形で、高句麗遠征が行われた。この戦争に参加した国の名称を挙げながら、この戦争の推移と帰結について説明しなさい(100字程度)。

問 4 下線部④の事績として正しいものを、下のア～エから一つ選んで解答欄に記号を記しなさい。

- ア モンゴル高原の東突厥を滅ぼして羈縻政策の下においた。
- イ チベット高原の吐蕃の朝貢を受け入れてこれを冊封した。
- ウ スマトラ島のシュリーヴィジャヤと婚姻関係を結んで和親した。
- エ インドのハルシャ=ヴァルダナのもとに玄奘を使者として派遣した。

(II) 次の絵画は、1665年に制作された、オランダ東インド会社職員のピーテル・クノルとその家族の肖像画である。場所はバタヴィアで、クノルと並んで立っているアジア系の女性はクノルの妻コルネリア(1629～1691)である。彼女はオランダ人と日本人を父母に持つ。彼女のような存在は稀ではなく、当時バタヴィアには日系人のクリスチャン・コミュニティが存在していたことが歴史文書や墓から明らかになっている。この絵とその時代に関係する下の問い(問1～問4)に答えなさい。

## 著作権処理中のため、公開できません。

問1 コルネリアのような日系人女性がこの時期バタヴィアで暮らしていた背景について、日本、オランダ、バタヴィアの関係性を考えて論じなさい(100字程度)。

問2 この絵に描かれているクノル家は奴隷を50人以上従えた裕福な暮らしを送っていた。当時オランダ東インド会社がどのようにして富を築くことができたかを、以下の語をすべて用いて説明しなさい(150字程度)。

銀      香辛料      商館

問 3 近世におけるオランダ以外のヨーロッパ諸国によるアジア地域との貿易に関する記述として正しいものを、下のア～エから一つ選んで解答欄に記号を記しなさい。

ア インド航路を開拓したポルトガルは、スリランカを占領し、それまで香辛料貿易を独占していたムスリム商人と競合しながら、マラッカやモルッカ諸島なども支配下においた。さらに台湾を拠点に対中国貿易も展開した。

イ スペインはフィリピンに侵略し、マニラに根拠地をおいて交易と支配を行った。マニラからフリゲート船によって太平洋をこえて結ばれたメキシコのアカプルコには、中国産の絹や陶磁器などが運ばれ、アカプルコからは銅が運ばれた。

ウ フランス東インド会社はリシュリューのもとで再建されてインドに進出し、ポンディシェリ・シャンデルナゴルを基地としてイギリスと対抗したが、デュプレクスが率いるイギリス東インド会社軍にプラッシーの戦いで敗北した。

エ アンボイナ事件以降インド経営に力を注いだイギリスは、マドラス・ボンベイ・カルカッタを拠点としてインドでの通商活動を盛んに展開した。インド産綿布はイギリスで人気を博し、貿易赤字と輸入代替の必要性が国内の綿工業の発展を促した。

問 4 クノルに先立たれたコルネリアは、莫大な財産を相続し、ヨアン・ピッテルという法律家と再婚した。けれども、その財産をめぐるオランダの社会と法廷を巻き込んだ壮絶な夫婦間の争いをひきおこした。最終的には、女性に財産管理権が認められていなかったため、彼女は敗訴した。しかし、18～19世紀になると、西ヨーロッパで女性の権利に対する見方に変化が生まれ、女性のおかれた抑圧的立場に対する訴えが公になされるようになっていった。こうした変化に影響を与えた事象として誤っているものを、下のア～エから一つ選んで解答欄に記号を記しなさい。

ア 『フランス人権宣言』において、人間は自由で権利において平等なものであることが謳われたが、女性には選挙権が与えられなかった。

イ 啓蒙思想の影響により、貴族・市民層を対象とした女子教育施設が設置されたり、サロンなどの知的社交会が頻繁になされたりするようになった。

ウ 多くの市民が戦闘に参加したことによって、兵士として招集された男性に代わり、女性が多くの職場で働きはじめた。

エ 市民層の勃興により、冒険小説や恋愛小説など様々なジャンルの文学が広く社会で読まれるようになった。

- Ⅲ 今年 2024 年から百年前の 1924 年、孫文は神戸商業会議所の要請を受けて、11 月 28 日に兵庫県立神戸高等女学校(現在の神戸高等学校)で講演を行った。彼は、中国に帰国後の 12 月 8 日に、『民国日報』という現地紙(上海版)に講演の全文を発表した。次の資料はその一部である。この資料を読み、下の問い(問 1～問 4)に答えなさい。

資料

**著作権処理中のため、公開できません。**

問 1 下線部①は、どのような歴史的事実なのか、条約名と改正内容を答えなさい。

問 2 下線部②について、関係するアジアの民族運動の名称を一つ挙げなさい。

問 3 下線部③の部分は、神戸での講演ではなく、帰国後に付け加えられたものと推測されている。下線部③に注目したうえで、「大亜洲主義」講演として知られるようになったこの孫文の講演全体は、第一次世界大戦後のどのような世界情勢・アジア情勢を反映していたと考えられるか説明しなさい(200字程度)。

問 4 この講演と同じ1924年の1月に、孫文が率いる中国国民党は第一回全国代表大会を開催している。そこで、いわゆる「連ソ・容共・扶助工農」の政策が決定され、国共合作(第一次)が正式に成立した。この背景には、ソビエト連邦(ソ連)および共産主義政党の国際組織であったコミンテルンによる働きかけがあった。ソ連、その後継国家である現在のロシア連邦と中国の友好関係の起源は、こうした1920年代にまでさかのぼって見出すことができる。その後の、中華人民共和国成立直後からソ連崩壊までの、中国のソ連との関係の変遷を論じなさい(200字程度)。

III 地理問題

(I) 自然環境と農業に関する下の問い(問1～問3)に答えなさい。

問1 ケッペンの気候区分において、冷帯(亜寒帯)気候は、ほぼ北半球にのみ<sup>(1)</sup>分布し、さらに冷帯冬季少雨気候(Dw)はシベリア付近にのみ分布する。<sup>(2)</sup>  
以上2点の理由を、次の図1の世界地図を参考に説明しなさい(150字程度)。

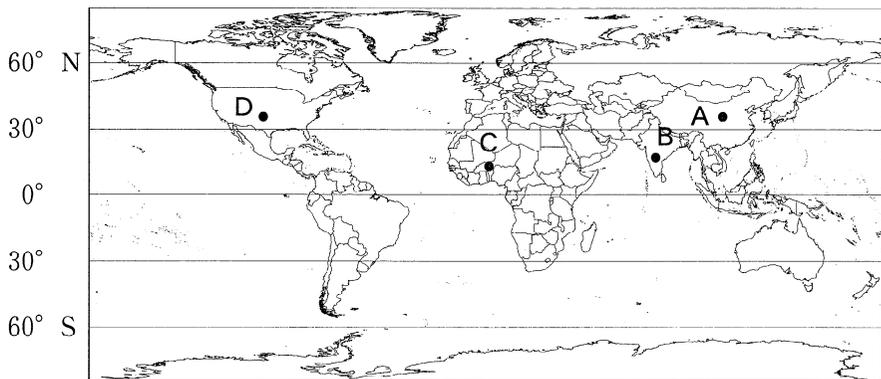


図1

問 2 図 1 の黒い円で示された地域 A～C に共通する気候および農業の特徴を、少なくとも一つの穀物名を挙げて述べなさい(100 字程度)。

問 3 図 1 の黒い円で示された地域 D の<sup>かんがい</sup>灌漑農業の特徴と問題点について述べなさい(100 字程度)。

(Ⅱ) 漁業に関する下の問い(問1～問3)に答えなさい。

問1 太平洋北西部の日本近海における好漁場の位置とその要因について、自然環境および経済的・文化的側面から述べなさい。ただし、下の図2(日本の部分図)にある範囲の漁場を対象とし、瀬戸内海の事例を除いて解答すること(200字程度)。



図2

問 2 下の図3は、世界の漁業・養殖業生産量の推移を示したものである。この図から読み取ることのできる、漁業の種別ごとの傾向と背景について述べなさい(200字程度)。

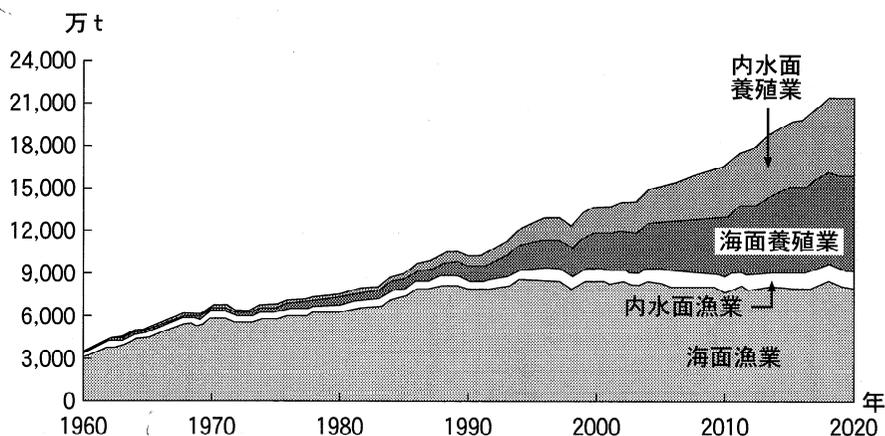


図 3

『令和3年度 水産白書』より作成(一部改変)。

問 3 東日本大震災後の被災地の漁業に関わる復興の要点について、多面的な視点から述べなさい(150字程度)。